

【個別評価と総合評価の評価基準】

評価基準		高い	←—————→				低い
個別評価	必要性	5	4	3	2	1	
	有効性	5	4	3	2	1	
	達成度	5	4	3	2	1	
	効率性	5	4	3	2	1	
総合評価	—	A	B	C	D	E	

個別評価		総合評価	
5	十分	A	取り組む必要性が、市の政策全体から見ても非常に高いと判断される事務事業
4	適切	B	取り組む必要性が、市の政策の視点から見て高いと判断される事務事業
3	おおむね適切	C	現状の計画に沿って推進していくべきと判断される事務事業
2	やや不十分	D	統合や縮小等の見直しが必要と判断される事務事業
1	不十分	E	必要性が薄れ廃止が妥当と判断される事務事業